

# 米国薬剤師研修ツアー

高い専門性と広い権限を持つ米国薬剤師から学び  
薬局現場で活かせるヒントを得てみませんか

研修地: 米国/ロサンゼルス

研修期間: 2017年10月22日(日)~10月27日(金)/4泊6日

ご旅行代金: 415,000円 (2名様1室利用時のお1名様代金/★早割特典適用時★)

\* 燃油サーチャージ等、国内空港施設使用料等及び、海外空港諸税が含まれておりません。

『日本国内空港施設使用料』…成田空港2,610円

『海外空港諸税』…7,000円

燃油サーチャージ等…14,000円

旅行代金の他に別途必要です。



**申込期限: 2017年9月22日!!**

\* お申込みは1名様から承れます。

\* ロサンゼルス滞在中は、現地係員がお世話をさせていただきます。

**★早割特典!!★**

**ご出発の50日前までのお申込みで旅行代金¥5,000のお値引!!**

## ミレニア・エデュケーションのご紹介

医療・福祉研修実績20年、過去受講者数 9000名。

米国ヘルスケアにおいて、在宅医療プロバイダーとして20年以上の経営・臨床活動の実体験とネットワークを活用し、専門的で実践的な研修を提供する。また、米国内で訪問介護を展開しており、業界の生の情報を提供する。

## 》 ミレニア社ご提案 研修のメリット

大手総合病院の院内薬局、ドラッグストア、療養型看護施設・介護施設、スペシャリティ・ファーマシーなど短期間で様々な現場で働く薬剤師からじっくり生の声が聞け、意見交換ができる。

介護施設や在宅医療に特化したスペシャリティ薬局サービスなど、新しい薬局スタイルの実態が学べる。

地域のニーズに合わせたサービス提供、販売促進方法、スタッフ教育システムなど、経営成功への取り組みを薬局管理者から聞きだす。

日本語研修資料・専門通訳をご用意致します。  
研修終了後には、修了書を発行します。

経験と知識豊富な現地日本人スタッフによる安心のサポート!!

### 》研修内容のお問い合わせ

ミレニア・エデュケーション  
Millennia Holdings, Inc.  
3731 Wilshire Blvd. Suite #900  
Los Angeles, CA 90010  
Tel: +1(213) 252-1230  
E-mail: [info@iryo-kenshu.com](mailto:info@iryo-kenshu.com)  
ホームページ: [www.iryo-kenshu.com](http://www.iryo-kenshu.com)

### 》お問い合わせ・お申し込み

株式会社ジェイワールドトラベル <ミレニア日本事務局>  
〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3-4-10 京阪神安土町ビル3階  
TEL: 06-6266-2408 / FAX: 06-6266-3447  
【東京】03-3402-0799 / 【名古屋】052-212-3551  
E-mail: [jwt@iryo-kenshu.com](mailto:jwt@iryo-kenshu.com) / ホームページ: <http://www.jw-trvl.co.jp/education/>

# 研修スケジュール

	日時	午前	午後
1	10/22 (日)	成田空港までは、別途追加料金にて手配可能です。 詳しくはお問い合わせ下さい。	日本発(成田空港)→ ***** <日付変更線通過> ***** ロサンゼルス到着後、市内観光を経てホテルへご案内
2	10/23 (月)	<b>ミレニア社による講義</b> <b>◆米国医療制度概要</b> ・各医療サービスと患者の流れ・日米比較 ・DRG制度(疾病別包括支払い方式)採用による在院日数短縮等の医療システム変換 ・医療保険制度と、マネージドケア(公的医療保険・民間医療保険と、マネージドケアの仕組み) <b>◆米国の薬局事情</b> ・米国で薬剤師になる為の過程 ・薬の選択・日米比較 ・コミュニティ薬局の様々な形態・サービス展開(大手ドラッグチェーン、シニア施設専門薬局、在宅輸液薬局、スペシャルティ薬局、メールオーダー薬局)	<b>『現場視察① 調剤薬局』</b> <b>◆現場視察(調剤薬局内、予防接種ルーム 在庫室など)</b> <b>◆薬剤マネージャーとのディスカッション(選択トピック例)</b> ・処方箋受け取りから薬の受け渡しまでの調剤業務の流れ ・薬剤テクニシャンと薬剤師の役割分担と勤務体制 ・調剤過誤予防の為のシステム・工夫 ・服薬指導の内容と、記録方法 ・予防接種・血液検査、包括的薬物レビューなどの調剤以外のサービス ・レフィル処方(再処方)の現状 <b>◆店舗マネージャーとのディスカッション(トピック例:以下より選択)</b> ・調剤の利益構造と平均客単価 ・他ドラッグストアチェーンとの差別化戦略 ・新人教育の内容と生涯学習の状況 ・スタッフの質管理・モチベーションアップの為の手法
3	10/24 (火)	<b>『現場視察② 大手急性期病院』</b> <b>◆院内薬局の視察・薬剤師との質疑応答</b> (最新調剤システム、分包機、薬剤カート、バーコード技術を使った投薬ミス防止システムなどの紹介) <b>◆外来薬局の視察・薬剤師との質疑応答</b> (自動調剤機などの投薬ミス予防の為の工夫紹介、退院時服薬指導の実情、他) <b>◆病院薬剤師とのディスカッション(選択トピック例)</b> ・病院薬剤師の一日の業務の流れ ・プロトコル処方権の実際 ・コンプライアンス工場対策 ・院内委員会への関与 ・レジデンシープログラム	<b>『現場視察③ 療養型施設・介護施設専門薬局』</b> <b>◆現場視察・薬剤師との質疑応答</b> (調剤エリア、無菌室、分包エリア、在庫エリアなどの紹介) <b>◆管理者(薬剤師)とのディスカッション(選択トピック例)</b> ・薬のオーダーから調剤、配達までの業務の流れ ・調剤過誤予防の為のシステム・工夫 ・疑義照会含む施設との日常コミュニケーション ・調剤及び配達に関する利益構造 ・施設に対する臨床サービス(薬剤師コンサルタントの派遣、臨床・規制遵守コンサルタントの派遣など) ・施設のニーズ把握・営業活動の実情 ・インターンシップ学生へのトレーニング
4	10/25 (水)	<b>『現場視察④ 総合シニア施設』</b> <b>◆現場視察・薬剤師との質疑応答</b> (スキルド・ナーシング施設、介護施設、在宅医療部門等) <b>◆臨床管理者とのディスカッション(選択トピック例)</b> ・専門薬局との連携・薬剤管理 ・投薬管理とミス予防 ・専門薬局からの薬剤コンサルタントの役割 ・薬剤に関するスタッフ教育 ・介護施設での服薬コンプライアンスの現状と課題 臨床・規制遵守コンサルタントの派遣など ・施設のニーズ把握・営業活動の実情 ・薬剤師による定期的なアセスメント、など 研修まとめ 米国薬剤研修 修了書の授与 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         ★オプションのご案内★                          基本プランは、午前中の視察で終了になります。                          午後からの視察もご希望でしたら、追加料金にて手配可能です。                          (視察先は希望の多い方になります。)                          (2名様以上での催行になります。)  </div>	◎午後自由行動(基本プランは午後から自由行動になります。) ----- ●午後オプションプラン <視察先(例1)> 在宅輸液・スペシャルティ薬局 <b>◆現場視察・薬剤師との質疑応答</b> (調剤エリア、無菌室、在庫エリアなどの紹介) <b>◆管理者(薬剤師)とのディスカッション(選択トピック例)</b> ・調剤及び配達に関する利益構造 ・在宅輸液が始まったところから現在に至るまでの保険償還額の移行と、それに対応するための戦略 ・在宅患者に対する臨床サポートサービス ・質管理の方法(点滴薬剤・輸液ポンプなど) <視察先(例2)> 流通センター <b>◆運営概要、サービスエリアと施設数、スタッフの構成、配達スケジュール、緊急時の対応、薬の管理方法、施設との契約形式、など</b> <視察先(例3)> コンサルタント薬剤師との面談 <b>◆サービス概要、コンサルタント薬剤師の役割、医師との連携、顧客に対する教育など</b>
5	10/26 (木)	ホテルチェックアウト後、空港へご案内	ロサンゼルス発→ ***** <日付変更線通過> *****
6	10/27 (金)		日本着(成田空港) お疲れ様でした

※施設の都合により見学・視察施設が変更する事がございます。又、視察先の順序が変更になる場合もございます。予めご了承下さい。

\*\*\*\*\* <<ご旅行条件>> \*\*\*\*\*

出発地	成田空港
利用予定航空会社	アメリカン航空、シンガポール航空、ユナイテッド航空、デルタ航空、全日空、日本航空のいずれかの直行便
利用予定ホテル	ガーデンスイートホテル、オックスフォードパレス、ラマダホテル、ザ・ラインホテル 又は同等クラス
食事	朝食0回・昼食0回・夕食0回
最少催行人員	6名様
添乗員	なし。 現地係員がご案内致します。
申込期限	2017年9月22日
※3名様1室のトリプルルームの設定はございません。 ※1名様でのお申込みのお客様は1名様1室のシングルルームでの案内になります。	

旅行代金(日本国内空港施設使用料(¥2,610)、空港諸税(¥8,000)は、別途をお支払い下さい。)	
基本代金(2名1室利用お1名様代金)	¥415,000
基本代金(1名1室利用)	¥468,000
最終日追加オプション(午後半日視察)	¥65,000
ビジネスクラスアップ代金	¥400,000
<b>早割特典50日前までのお申し込みで旅行代金一律¥5,000引き</b>	

【ESTA(電子渡航認証システムのご案内)】

※無査証で米国に渡航する場合、渡航72時間前までにインターネットを通じて無査証免除可否のチェックを受けるシステム【電子渡航認証システム(ESTA)】での申請が義務付けられています。申請は「<https://esta.cbp.dhs.gov/>」より行い、認証が拒否された場合、査証の取得をしない限り航空機の搭乗や入国が出来なくなります。弊社にて代行取得を承り、申請の結果「保留又は拒否」となり、渡航認証許可が下りず、ご出発頂けなかった場合の責任は負いかねます。又、手配代行料金の返金もございませんので予めご了承下さい。手配代行手数料6,000円(申請実費含む)